山鹿市民医療センター開放型病院広報紙　11月号

つばさ

Yamaga City Medical Center



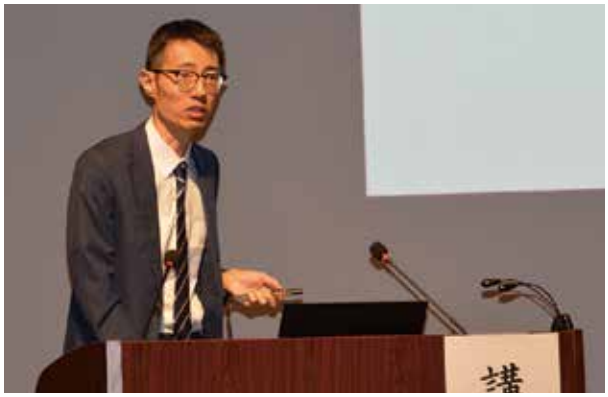
発行所　山鹿市民医療センター　〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420(代)
FAX 0968-44-0071(連携室直通)

第9回市民公開講座を開催しました

当センターは熊本県指定がん診療連携拠点病院として、地域の先生方と連携しながら、がんの予防、診断、治療および緩和ケアに取り組んでいます。その一環として、がんに関する情報発信を継続しており、本年も10月3日（土）に第9回市民公開講座を開催し、180名の皆様にご来場いただきました。



今回は「『健幸都市　山鹿』の実現をめざして～いま知っておきたい　メタボの健康リスクとがん対策～」と題し、当センターの保健師、管理栄養士、医師がそれぞれの立場から、メタボリックシンドロームの概要とがんとの関連、生活習慣改善によるがん対策、消化器がんの内視鏡治療・外科治療について解説しました。



特別講演では、国立がん研究センター中央病院糖尿病腫瘍科の大橋健先生をお招きし、「そこが知りたい！糖尿病患者さんのがんとがん患者さんの糖尿病」と題して、糖尿病とがんの密接な関係、がん検診による早期発見、膵臓がんと糖尿病との関係、がん治療中の血糖管理、健康的な生活習慣によるがん予防について、分かりやすくご講演いただきました。



さらに、健康チェック・相談コーナーにも多くの方にご参加いただきました。ご来場いただいた皆様、ご協力いただいた関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

今後も地域の皆様の健康増進とがん予防・がん診療の充実に努めてまいります。



（代謝内科長　西田　周平）

クラウドファンディングに挑戦します！

　このたび、緩和ケア病棟の改築に向けたプロジェクトを進めるにあたり、皆様にご寄付のお願いをさせていただくこととなりました。
　当センターは、圏域内唯一の公的病院として、地域の皆様に寄り添う医療の提供に努めております。なかでも高齢者医療やがん診療には力を入れておりますが、その先には必ず、患者さんとご家族を支える「安らぎの医療」である緩和ケアの存在があります。
　当センターは緩和ケア専門医を配置し、緩和ケア病棟を運営しております。しかし、その病棟は築40年を超える旧棟を基盤とした施設であり、令和8年熊本地震では一部に損傷が生じました。
　その際には、やむを得ず緩和ケア治療の患者さんに一般病棟へ移っていただくこととなり、大切な時間を本来の環境とは異なるかたちで過ごしていただかざるを得ませんでした。
　私たちは、このような事態を二度と繰り返さないため、免震構造を備えた一般棟へ緩和ケア病棟を全面移転することを決断いたしました。今回の計画において、私たちがもう一つ大切にしたいと考えたことがあります。それは、これまで以上に心安らぐ療養環境を整え、人生の終末期においても豊かな時間を過ごしていただける病棟を実現することです。
　陽光が差し込み、開放的な景色を望める空間の中で、ご家族や親しい方々と穏やかな時間を過ごしていただく。そうした環境づくりを目指しています。農作物が豊かなこの地域の皆様には、四季の移ろいや自然とのつながりはかけがえのないものです。また、長年ともに暮らしてきた愛犬や愛猫も大切な家族の一員であり、ペットとの面会にふさわしいスペースの必要性を私たちは以前から感じてまいりました。
　そこで、震度7クラスの地震にも耐えうる免震構造の病棟最上階に、ペットと過ごせる専用プレイルーム（ドッグラン・キャットウォーク）や足湯付きバルコニーを整備し、患者さんが最後まで「自分らしく、穏やかに生きる時間」を過ごせる空間を創りたいと考えています。
　このプロジェクトの実現には、多くの皆様のお力添えが必要です。ぜひクラウドファンディングを通じて温かいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



（事務部次長　甲斐　通博）

全職員対象で一次救命処置（BLS）研修を開催

　当センターでは、外来や入院中の患者さんに心肺停止を含む急変が発生した場合、医師や看護師が救命処置にあたることが多く、心肺蘇生法などのBLS研修を定期的に実施しています。しかし、心肺停止などの緊急事態は、患者さんだけでなく、そのご家族や来訪者、職員など院内の誰にでも起こり得るものです。また、医師による二次救命処置が開始されるまでに、いかに迅速にBLSを開始できるかが、救命の鍵となります。
　そこで今回は、病院内のどこで緊急事態が発生しても、すべての職員が初期対応を行えることを目的に、全職員を対象としたBLS研修を開催しました。研修目標は、以下の4点としました。
　①院内緊急コールのかけ方がわかる。
　②適切なBLS（胸骨圧迫）が開始・実施出来る。
　③AEDの設置場所がわかる。
　④AEDの操作ができる。
　研修では、特に応援を呼び、人が集まるまでの初期対応を重視し、人形を用いたシミュレーション形式で実践的な訓練を行いました。普段BLSを実践する機会のない職員からは、「胸骨圧迫がこんなにきついとは思わなかった。応援を呼ぶことの大切さを実感した」「AEDがどこにあるかが知ることが出来てよかった」「すぐ実践は難しそうだが手伝うことは出来そう」といった感想が聞かれました。
　BLSは一度研修を受ければ終わりというものではなく、定期的に訓練を行い、実際の緊急時に対応できる力を維持することが重要です。今後も全職員を対象とした研修を継続的に実施し、当センターを利用されるすべての方に、より安心で安全な医療を提供できるように取り組んでいきたいと考えています。




（救急医療委員会　2階病棟看護師長
救急看護認定看護師　久米　隆道）

医療最前線（179）

麻酔について

麻酔科医長　篠塚　大

麻酔という言葉を聞いて、皆さんはどのようなイメージが浮かびますか？本当に眠ったように意識がなくなってしまうのか……手術中にどのような処置が行われるのか……。手術を前にして不安を感じない方はほとんどいません。

例えば全身麻酔の場合、麻酔によって患者様は手術中の苦痛や不安から解放されますが、一方でそれはご自身で体調の変化を訴えることができなくなってしまうことも意味します。つまり、麻酔科医の仕事は単に患者さんを眠らせることではなく、眠った後も血圧や呼吸などを厳重に管理し、患者さんの命と安全を守ることが私たちの重要な役割です。手術を受ける患者さんの中には様々な持病を抱えている方もいらっしゃるため、それが不安だというご相談をお受けすることも多々あります。それでも、私たちは患者さん一人ひとりの状態に合わせて、麻酔薬の量や点滴などを細かく調整し、最適な医療を提供するよう努めています。

ここで一言お伝えしなければならないのは、医療に絶対的な安全はないということです。医療が発達した現在でも、残念ながら避けることのできない合併症が稀に起こってしまうのは事実です。高齢の方や重度の病気をお持ちの方でも、リスクを抱えたまま緊急で手術をしなければならない厳しい状況もあります。それでも、さまざまな危険性を予測し、十分な準備のうえで麻酔を行うことを私たちはお約束します。過去に麻酔で気分が悪くなった経験や、痛みに対する不安なども遠慮なくお話しください。そうした一つひとつの声が、より良い麻酔につながります。患者さんがメリットとリスクについて納得して安心して手術に臨めることも、私たちが目指す質の高い医療の大切な一部です。

山鹿市民医療センターでは経験豊富な麻酔科の専門医に加えて、さらに麻酔に特化した看護師も常勤しております。「この病院で手術を受けてよかった」と思っていただけるよう、これからも安全で質の高い医療を提供して参ります。



第91回公開講演会のご案内

（日本医師会生涯教育講座１単位）

取得カリキュラムコード　番号・コード名
4. 医師―患者関係とコミュニケーション

下記により第91回公開講演会を開催いたします。
多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

鹿本医師会会長　橋本　尚子
山鹿市病院事業管理者　別府　透
記

日時：令和8年11月13日（金）19：00～
形式：ハイブリッド方式(オンライン参加or会場参加)
会場：オンライン参加 / Zoomミーティング
会場参加/山鹿市民医療センター 1階 医療研修センター
演題:「この10年でどう変わった?　山鹿市民医療センターのがん治療」
演者：山鹿市民医療センター
病院事業管理者　外科　別府　透　先生
司会：山鹿市民医療センター 病院長　石河　隆敏　先生

参加費：無料

【参加要領】下記参加URL、又は参加QRコードからご参加ください。
（参加URL）：https://zoom.us/j/92394079834
（参加QRコード）⇒
ミーティング　ID：923 9407 9834
パスコード： 916393

※ミーティングに参加される際の【名前】欄には、必ず「氏名」と「医療機関名」をご入力ください。
※快適にご視聴いただくため、イヤホンやヘッドセットのご使用をお勧めいたします

お問合わせ先　山鹿市民医療センター
地域医療連携室　西田・今坂
TEL:0968-44-2185　FAX:0968-44-0071

※共催：鹿本医師会
山鹿市民医療センター医療研修センター運営委員会

外来担当医表　11月

◎診療受付時間は、8:30（予約再診の方は8:00）～11:00

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※ 後藤由比古	—	※ 後藤　英介	—	※ 後藤　英介
腫瘍内科	—	—	—	—	※ 宮本　英明
消化器内科	梶原　雅人	竹熊　梨祐	本原　利彦	梶原　雅人 竹熊　梨祐	本原　利彦
内分泌・代謝内科（予約制）	西田　周平	—	西田　周平	—	西田　周平
循環器内科	大庭　圭介 清水　博	大庭　圭介 清水　博	※ 中山　智子 清水　博	清水　博 大庭　圭介	大庭　圭介 清水　博
整形外科（紹介外来制）	横田　秀峰 樽美　備一 松下　祥大	工藤　智志 樽美　備一 松下祥大/坂上諒明	手術 （担当医）	工藤　智志 横田　秀峰 坂上　諒明	手術 （担当医）
外科	別府　透 石河　隆敏 織田　枝里	手術 （担当医）	別府 透(新患のみ) 石河隆敏 / 増田稔郎 遊佐俊彦 / 織田枝里	手術 （担当医）	別府　透 増田　稔郎 遊佐　俊彦
乳腺外科（予約制）	—	※ 冨口　麻衣	—	—	—
泌尿器科	中村　圭輔	手術（担当医）	今藤　淳之助	※神波 大己 教授	中村　圭輔
小児科	小澄　将士	小澄 将士	小澄　将士 （午後：予防接種）	小澄 将士（午前） ★※石井真美（午後）	小澄　将士
	＊小児科の午後診療は、16：00受付終了				
耳鼻咽喉科（予約制）	—	非常勤医師	—	非常勤医師	—
眼科	手術	特殊再来のみ	古島　京佳	古島　京佳	古島　京佳（午前） ★非常勤医師（午後）
産婦人科	非常勤医師（午後） （受付14:00～16:00）	※片渕美和子（午後） （受付13:00～16:00） 婦人科・思春期・更年期	—	非常勤医師（午前） ★非常勤医師（午後） （受付14:00～16:00）	非常勤医師 （午前）
緩和ケア内科（予約制）	織田　枝里	堀　和樹	織田　枝里	堀　和樹	—
総合診療科（予約制）	吉岡　明子	—	吉岡　明子	—	吉岡　明子
救急外来	泌尿器科医（午前） 吉岡　明子（午後）	吉岡　明子	大庭 圭介（午前） 清水　博（午後）	奇数週：担当医 偶数週：吉岡明子	外科医（午前） 消化器内科医（午後）
健診	髙木　茂	髙木　茂	髙木　茂	髙木　茂	髙木　茂

※ 非常勤医師です。　★ 第2、第4のみ診療となります。

◎当日の受診に関する相談を除くお電話は、平日14時から17時までが受付となります。

特殊・専門外来【予約制】　11月

◎特殊・専門外来の診療時間等詳細については、各診療科にお尋ねください。

名称	担当医等	実施日	診察場所
外来化学療法	担当医	毎週　火曜・水曜	各診療科
	※ 宮本 英明	毎週　金曜（がん薬物療法専門医）	
小児科予防接種	小澄 将士	毎週　水曜（受付時間13:30～16:00）	Aブロック
ストーマ外来	担当医	毎月　第３水曜（午後）	Bブロック
PEG外来	担当医	毎月　第２水曜（午後）	
セカンドオピニオン外来	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎急患の場合は、この限りではありません。
ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります

◆最新の担当医表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター
〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
TEL 0968-44-2185（代）
FAX 0968-44-2420（代）
FAX 0968-44-0071（連携室直通）
http://yamaga-medical-center.jp